

短 報

コスギニガナの新北限産地 (米倉浩司)

Koji YONEKURA: The Northernmost Locality of *Ixeridium yakuinsulare* (Compositae)

コスギニガナ *Ixeridium yakuinsulare* (Yahara) J.H.Pak & Kawano (= *Ixeris yakuinsularis* Yahara) は, ニガナ *I. dentatum* (Thunb.) J.H.Pak & Kawano とヤナギニガナ *I. laevigatum* (Blume) J.H.Pak & Kawano の中間的形質を示し, 両者の交雑に起源する無融合生殖種と考えられている (Yahara et al. 1987). ニガナからは葉が黄緑色で生時光沢があり, 根出葉の数が多くロゼット状となり, 茎葉が線形で細かい点で, ヤナギニガナからは葉質が薄く縁に長い毛状鋸歯があり, 瘦果の冠毛が長く, 無融合種子形成を行い花粉粒径が不揃いである点で容易に区別できる. 本種は長い間屋久島と種子島の固有種と考えられていたが, 南谷 (2000) によって宮崎県からも報告された.

筆者は, 2001年12月に長崎県佐世保市でコスギニガナを採集した. これまでの記録では北限に当たるのでここに報告し, 代表的な個体を Fig. 1 に図示する. なお, 証拠標本は TUS に保管されている. 生育地は二次林と住宅地の境にある道路沿いの土手で, 未開花個体も含めて20株ほどが確認された. 今回発見された長崎県産の個体は, 原記載や屋久島産の標本と形態的特徴がよく一致し, 生育環境も宮崎県のもの (南谷 2000) と類似している.

長崎県の新産地付近は筆者も過去数回採集に訪れたことがあるが, これまで全く目につかなかったことから, この植物は近年になって長崎県に進入したことが推測される. 南谷 (2000) に引用された宮崎県産の多数の標本も全て1996年以降に採集されたものであることから, 宮崎県においても比較的最近広がったものなのかも知れない. 南谷 (2000) は本種を「屋久島と九州本土が地続きの時に連続分布していたと思われる植物群」の項で解説しているが, 今回の長崎県における発見を考慮すると, 本種はむしろ近年になって形成され, 風散布により急速に分布を拡大しつつある植物である可能性が高い. 今後九州の他の県でもコスギニガナが発見される可能性は十分ありうる.

ニガナ属は, 従来 *Ixeris* Cass. (タイプ種はノニガナ *Ixeris polycephala* Cass.) にまとめられていたが, 近年はニガナとその近縁種を染色体基本数や瘦果の形態の違い等に基づき *Ixeridium* Tzvelev として独立させる意見 (Pak and Kawano 1992) が有力であり, 筆者もこの意見を支持する.

標本の閲覧を許された東京大学 (TI) と国立科学博物館 (TNS) の各標本庫のスタッフの方々にお礼申し上げます. 標本調査に際しては日本学術振興会科学研究費 no. 12740465 の補助を受けました.

Ixeridium yakuinsulare (Yahara) J.H.Pak & Kawano in Mem. Fac. Sci. Kyoto Univ. (Ser. Biol.) **15**: 50 (1992).

Ixeris yakuinsularis Yahara in Yahara & al. in J. Fac. Sci. Univ. Tokyo sect. III, Bot. **14**: 115 (1987) et in K.Iwats. & al., Fl. Jap. **3b**: 18 (1995); Minamitani in J. Phytogeogr. Taxon. **48**(2): 123 (2000).

Northernmost locality: **Japan**. Kyushu, Nagasaki Pref., Sasebo-shi, Umeda-machi, 129° 43'00"–10"E, 33° 11'10"–20"N, alt. 40–50 m. (K. Yonekura 7685, 31 Dec. 2001, TUS).

Distr.: Mainland Kyushu (Nagasaki Pref. and Miyazaki Pref.), Isl. Tanegashima and Isl. Yakushima (type loc.).

References

- 南谷忠志 2000. 九州の植物新知見. 植物地理・分類研究 **48**: 121–131.
- Pak J.-H. and Kawano S. 1992. Biosystematic studies on the genus *Ixeris* and allied genera (Compositae–Lactuceae). IV. Taxonomic treatments and nomenclature. J. Fac. Sci. Kyoto Univ. (Ser. Biol.) **15**: 29–61.
- Yahara T., Ohba H., Murata J. and Iwatsuki K. 1987. Taxonomic review of vascular plants endemic to Yakushima Island, Japan. J. Fac. Sci. Univ. Tokyo sect. III, Bot. **14**: 69–119.

(東北大学大学院理学研究科
附属八甲田山植物実験所)

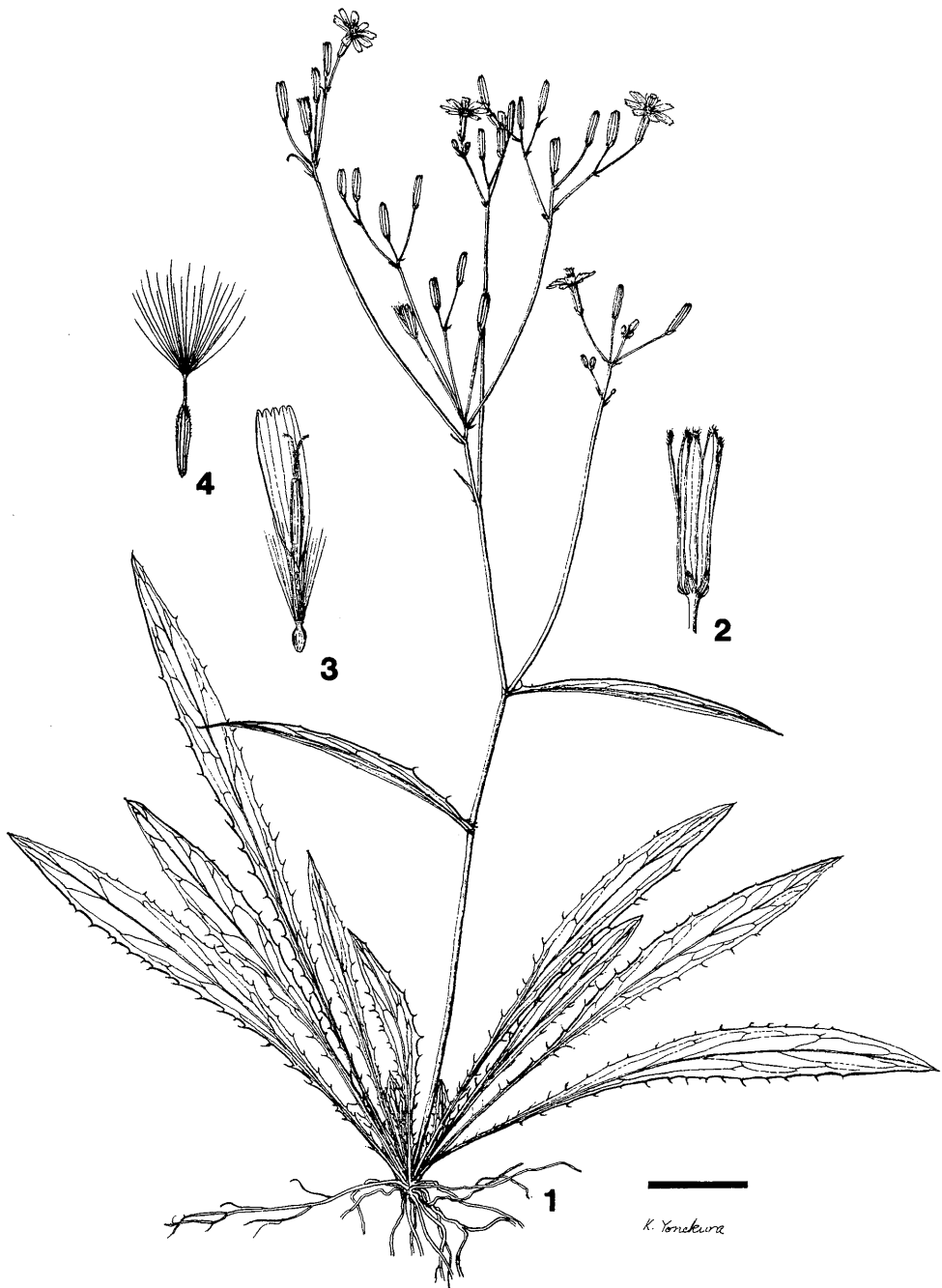


Fig. 1. *Ixeridium yakuinsulare* (Yahara) J.H.Pak & Kawano from Nagasaki Prefecture. 1. Habit. 2. Involucre. 3. Floret. 4. Immature achene. Scale bar = 2 cm for 1; 4 mm for 2-4. Drawn from Yonekura 7685 (TUS).